

146名の仲間たち2

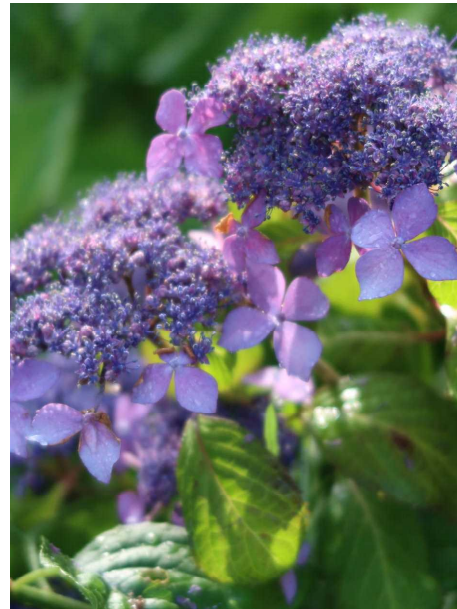
第2学年 学年目標 『共に尊重し 共に成長する』

梅雨の時期にこそ 大事なこと

梅雨の季節に入り曇天の蒸し暑さの中、時折吹き抜ける風が、とても爽やかに感じられます。

さて、今は、学年行事の広島研修に続き1学期の中間テストも終わり、一息ついてほっとしている所でしょうか。6月の予定としては、各部の部活動懇談やシード決め大会、学校では教育実習やタウンミーティング、そして、皆さんに直接全員に関わる行事としては、教育相談や人権教育、期末テストと何かと行事が多い月です。勉強に部活動と、大変だとは思いますが、ここが踏ん張りどころと割り切って、突破してほしいと思います。

それは、皆さんの頑張った結果を出せる機会でもあり、活躍できる場面です。体調を整えて頑張りましょう。期待しています。



紫陽花 (アジサイ)

広島研修を終えて

5月18日は、2年生の広島研修でした。当日まで、天気が危ぶまれましたが、昼にわずかな小雨があったものの、研修中は何とか持ちこたえてくれて、現地での解散式を終えてバスに乗り込もうとする同時に、雨天となりました。まさに間一髪でした。ところで、広島研修では、全員に「将来どう生きたいのか。」「どんな社会であってほしいのか。」という課題をつきつけられたように思っています。皆さんは、被爆体験講話や平和記念資料館見学などを通して、「ヒロシマ」について多くの事を学び・考えた事を活かして、この課題の答えを、各自新聞（広島研修のまとめ）として完成してくれたらと思います。次に、絵日記より、感想を掲載させていただきます。

- 私は、広島研修に行って、原爆というのはとても怖いということを改めて感じました。平和記念資料館では、原爆が投下される前の写真と投下された後の写真を見ました。原爆ドーム、たくさんの建物が被害を受けていました。原爆や戦争は絶対に起こしてはいけないと思いました。
- 私は、広島研修で二つのことを思いました。一つ目は、原爆の怖さです。原爆という、1つの爆弾でかけがえのない華族や物まですべてなくす恐ろしいものだと思います。二つ目は平和の尊さです。平和は、一人一人が考えなければならないと思いました。この広島研修で学んだことをこれからに活かしていきたいです。
- 私は、広島研修で原爆の恐ろしさを知りました。原爆の被害にあった原田さんの講話を聞いて、原子爆弾は強い熱線と爆風、放射線や黒い雨で人々を襲い、苦しませるので、この世にあってはならないものだ改めて感じました。核兵器をなくし、争いのない平和な世界になってほしいです。
- 広島研修で良かったことが二つあります。一つ目は、人の話がちゃんと聞けたこと。二つめは、班でまとまって行動できたことです。ヒロシマについての理解を深めて、平和の尊さについて学習できたので、良かったと思います。(以下省略)

中間考査の風景



6月のおもな行事予定

6月	曜	給食	行 事	6月	曜	給食	行 事
1	金	○		16	土	×	備南西地区総体陸上、県中学校吹奏学祭
2	土	×		17	日	×	
3	日	×		18	月	○	
4	月	○	専門委員会、教育実習(22日まで)	19	火	○	
5	火	○	小中連絡会	20	水	○	期末考査発表、職員会議
6	水	○	全校集会	21	木	○	
7	木	○	部活動懇談、耳鼻科検診	22	金	○	教育実習終了
8	金	○		23	土	×	
9	土	×	シード決め大会	24	日	×	
10	日	×	シード決め大会	25	月	○	
11	月	○	教育相談(19日まで)	26	火	○	
12	火	○		27	水	○	期末考査①
13	水	○	校内研修、タウンミーティング(東小)	28	木	○	期末考査②、交通教室、全校集会、壮行式
14	木	○	タウンミーティング(西小)	29	金	○	
15	金	○	口座振替日、タウンミーティング(六小)	30	土	×	
			安全点検日、岡山盲学校来校	31	日	×	

7月の主な行事予定

7月 2日(月):専門委員会	7月16日(月):海の日
4日(水):全校集会	17日(火),18日(水):
7日(土),8日(日):備南西地区総体	保護者懇談会①,短縮,朝読なし
11日(水):5校時下校	19日(木):終業式、職員会議
12日(木):大掃除	20日(金):夏季休業日
13日(金):保護者懇談会①,短縮,朝読なし	
口座振替日	

保護者の皆様へ

部活動懇談、鴨中タウンミーティング、高校オープンスクール

6月7日(木)は、部活動懇談、6月13日(水)～15日(金)にはタウンミーティングがあります。詳細は、すでに配付済みのご案内の文書をご覧ください。また、オープンスクール(高等学校)への参加についての文書も生徒に配付しています。ご家庭で、お子様の進路等を話題にさせていただいて、ご希望があれば参加申込を提出させていただきます。なお、進路関係の文書類は、期限厳守でお願いします。
 ※ 校外でのトラブルで、スマホ等通信メディアでのSNSが関連している場合が多くなっています。ご家庭でも使い方についてのご検討、ルールづくりをお願いします

中間テストが終わってほっと一息するのが6月ですが、行事予定を見てください。期末テストまで4週間！その間に、部活動懇談やシード決めの大会（備西合同練習会）などたくさんの行事があります。このようなときにこそ基本に戻ることが大切です。つまり、”生活のリズムを崩さない！”これが一番肝心です。授業中は勉強に集中する。放課後は部活動に集中する。これだけでOKです。部活動に入っていない人は、放課後家に帰っての時間をゲームやテレビなどに費やさないようにすることが肝心です。

何はともあれ、6月の過ごし方が1学期の評価を左右します。ほっと一息つくのは夏休みになってからにしましょう。 罨線→塗りつぶし→50%→色

平成27年度 美中執行部平和宣言

1945年、昭和20年、8月6日午前8時15分。
1つの原子爆弾により、ヒロシマは一瞬にして火の海になりました。
当たり前の日常、たくさんの命、原子爆弾は広島からすべてを奪っていきました。
70年経った今、ヒロシマは復興し、現在の平和で美しい広島があります。
しかし、原爆で失った人々の命は、二度と戻ることはありません。
家族を奪われた人々の悲しみは、もう二度と消えることはないのです。
戦争をもう二度と起こしてはいけません！！
戦争を起こさないために、私たちが世界を平和にする第一歩となっていくべきではないでしょうか？！
それはどんな些細なことでもかまいません。
それはどんな小さな事でもかまいません。
「言葉遣いに気をつける」
「気持ちのよい挨拶をする」
「けんかをしない」
「仲間を大切にする」
「思いやりの心を持つ」
「けじめをつける」
「平和な毎日を大切にする」
自分たちにできることを1つ1つやってみましょう。
私たちはこれからも美鈴が丘中学校の生徒として
これら1つ1つの事を実践することで
平和な世界が続くことを願い続けたいと思います。

立命館宇治中学校平和宣言

私たちは唯一の被爆国である日本で生まれ育ちました。
多くの人は、一度は広島・長崎を訪れたことがあると思います。

昨年度、私たち生徒会は被爆ピアノコンサートを行い、平和へのメッセージを発信しました。

今年8月、私たち、立命館宇治中学校生徒会の代表は、広島平和祈念式典に参加しました。日本人だ

けにとどまらず、世界中の人が広島に集まって平和を祈っている姿を見て、どうしてこんなに多くの人が平和を祈っているのに、今でも戦争は消えないのだろうと思いました。けれど、平和を祈り続けることをやめてしまうことは、「2度と同じ過ちは繰り返さない」という戦争で被害にあった人々の思いを捨ててしまうことになりません。

私たちは、実際に戦争を体験した人から直接話を聞ける、最後の世代です。悲惨な戦争によって多くの犠牲者が出たこと、たくさんの人々の心に傷を残したことは忘れてはいけないうし、絶対に繰り返してはいけません。だから、私たちが、それを受け継いで次の世代へ伝えていく第一歩として、平和の象徴であるアオギリを植樹します。

立命館学園は「平和と民主主義」を教学理念に掲げています。私たち立命館宇治中学校の生徒は、平和について考えて、平和を伝えていく立場になります。そして、大人になってもずっと、平和な世の中になるための活動を続けていくことを誓います。

2010年 12月10日
立命館宇治中学校 生徒会

生徒会平和宣言]

ヒロシマに原子爆弾が投下され、終戦を迎えて67年目。「戦争」と聞くだけで、遠い昔の出来事のような気がします、実はそんなに遠い昔の話ではないのだということを私たちは感じます。

先日、ヒロシマの若者達にマスコミが取材をしているテレビ番組をみました。そこで、驚いたことは、今では、二・三十代の若者の半数は、8月6日がどういう日であるか語れないということでした。

みなさんはいかがでしょうか。身近な人から戦争体験を聞いたことがあるでしょうか。たしかに、戦争体験をした方々が少なくなっているかもしれません。実のところは、私たちは知ろうとしていないのかもしれません。でも、知らないままでもいいのでしょうか。戦争の本当の醜さ・原子爆弾のむごさをきちんと学習していかなければ、いつか同じ過ちを繰り返すのではないのでしょうか。

あるマスコミ関係企業の資料によると「世界や日本は平和だと感じますか」という問いも、「いいえ」と答える人が昨年よりも増えていました。その理由として、戦争ではないけれど「まさかそんなことが」と思うような事件が毎日起きているが、いつのまにか「またか」と思うくらい人を傷つける事件が起こっているからというのが印象的でした。

では、私たち自身はどうでしょうか。私たちは、平和を創る活動の第一歩として、まず自分たちの学校から平和を築かねばなりません。それは、ただ楽しいだけの「平和」じゃなくて、みんなの人権が守られる「平和」です。先日、全校人権集会が開催され、鶴谷中学校いじめ撲滅宣言が採択されました。

その宣言をさらにすすめて、次のような平和アピールを宣言し提案します。

一つ。だめなことはだめと注意し、嫌なことは嫌とはっきり伝えます。

一つ。ちゃんと勉強します。

一つ。ルールを守ります。

一つ。ちゃんと話し合ってわかり合います。

一つ。人に迷惑をかけません。

一つ。自分からあいさつをします。

一つ。きもい・うざい・死ねということばをつかいません。

一つ。人の悪口はいいません。

こんな小さなことからでもいいと思います。これらは全部「自分さえよければ」という自分勝手をなくさなければ実現できません。

私たちは、これから世界が平和であり続けるために、戦争犠牲者の貴い命を確実に引き継ぐためにも、平和を求める仲間の輪を広げます。以上、鶴谷中学校「平和アピール」を宣言します。

2012
年 8月6日 佐伯市立鶴谷中学校平和実行委員会